



平成24年度 第1回学校見学会 「ことばの力」トライアル

～～案内をした高校生はこのように感じました～～

<3年栽培環境コース 折戸 建蔵>

今回、栽培環境コースの代表として参加しました。中学生の案内役として普段の実習内容を、わかりやすく短時間で紹介するのはとても難しかったです。フリートークのときには、一方的に話してしまった場面もあったので、中学生からの意見や質問を聞いて、会話のキャッチボールができると良かったなと反省しています。今回の経験で、人に伝えることの難しさなどを学ぶことができました。

<3年海洋科学科 真鍋 仁>

今回は、中学生の学校見学という形で、海洋高校に来ていただきました。私は受付をしましたが、大勢の人が押し寄せて、少し戸惑いましたが、自分なりに段取り良くできたと思います。校舎内の案内も、列がまとまらなくて苦労しました。最後のあいさつは緊張して、自分でも何を話しているかわからなくなってしまい、まだまだ駄目だなと思いました。今回の経験を大学受験の面接などに活かしたいと思います。

<2年食品経済コース 野田 千裕>

今回の学校見学会での反省は、食品工場にある機械を上手く説明できなかったことと、中学生のみなさんを誘導できなかったことです。また、フリートークの時間も、食品経済コースの前に人があまり集まらなかったのは、私にはまだ、人を引き寄せる力が備わっていないということと、コースの魅力を十分に伝えることができなかったからだと思いました。今後、コミュニケーション能力を身に付けて、今回の反省を挽回できるチャンスがほしいと思います。

<3年航海船舶コース 橋本 ゆう太>

私は実習船「みずなぎ」の説明と、海洋高校なんでもフリートーク、黒潮寮の説明を担当しました。

「みずなぎ」の説明では、中学生や保護者の方に分かっていただけのように、できるだけ専門用語を控えたり、例を出して話すことを心掛けました。また、フリートークでは船に興味のある中学生に魅力を伝え、寮では日課や規則について話しました。自分自身も楽しむことができ、また参加したいと思いました。

<3年海洋技術コース 後藤 大智>

私の担当は、海洋技術コースの学習内容や水中施工実習室(水深10メートルプール)のことを短時間で説明することでした。「ゆっくり話をして、わかりやすい説明をしよう」と思っていたのですが、実際は、時間が少なく、考えていた内容を十分に話すことができませんでした。しかし、私が実際に水深10メートルまで潜り、水面に浮上したときには、みなさんから大きな拍手をもらい、喜んでいただくことができたので、本当に嬉しかったです。海洋高校を見学していただいて、ありがとうございました。